

水稲早生品種「なっほのか」

栽培のポイント



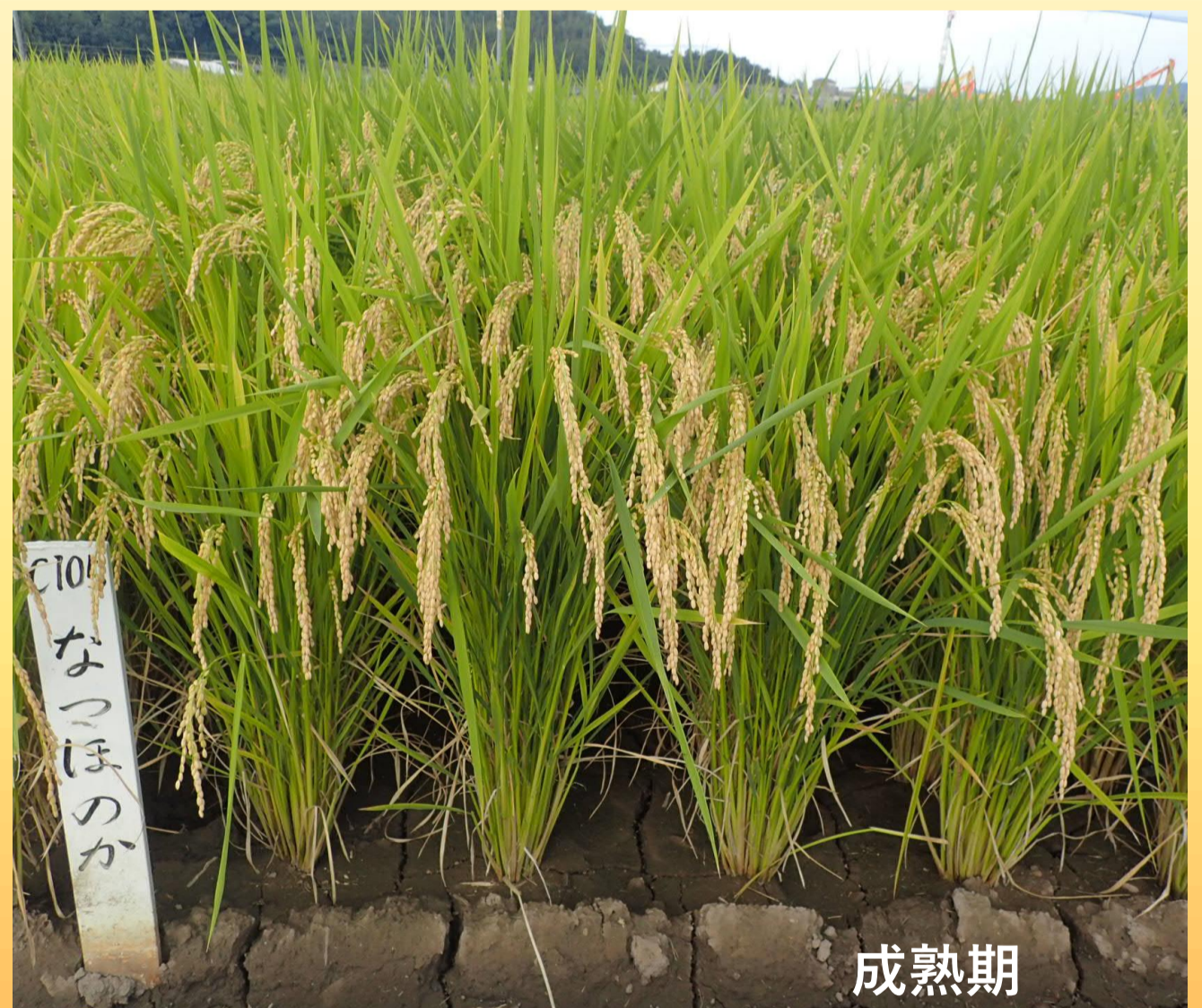
移植10日後



穂ばらみ期（移植50日後）



穂ぞろい期



成熟期

令和5年2月

大分県農林水産研究指導センター
農業研究部 水田農業グループ

「なつほのか」の特徴

宇佐市(水田農業グループ)における6月25日頃移植の「ヒノヒカリ」との比較

生育特性

①収穫の早い早生品種

出穂期は4日、成熟期は7日程度早い

②生育初期は稲体がしなやかで葉が垂れる

③稈長・穂長は同程度、穂数はやや多い

④耐倒伏性は同程度



生育初期(移植20日後)の様子
(茎数24本/株程度)

移植期	品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏程度
		月・日	月・日	cm	cm	本/m ²	(0-5)
6/10頃	なつほのか	8.14	9.23	86	20.2	376	0.5
	ヒノヒカリ	8.20	10.04	92	19.7	373	0.6
	差・比	-6	-11	-6	+0.5	101	-0.1
6/25頃	なつほのか	8.23	10.08	86	19.9	409	0.9
	ヒノヒカリ	8.27	10.15	89	19.6	388	1.1
	差・比	-4	-7	-3	+0.3	106	-0.2

注1)表中の値は、6/10頃移植が6か年(2015~2017、2020~2022年)、6/25頃移植は8か年(2013~2017、2020~2022年)の平均値。

注2)差・比の値において符号のあるものは差、ないものは比を表す。

収量・品質特性

①千粒重が1~2g程度重く、1割程度多収

②検査等級は同程度~優れる

③高温登熟耐性を有する(白未熟粒が出にくい)

④玄米のタンパク質含有率は同程度、味度値は高い

⑤大粒で、食味官能総合値は同程度



なつほのか

ヒノヒカリ

移植期	品種名	玄米重 kg/10a	千粒重 g	検査等級		玄米 タンパク質 含有率 %	味度値	食味 官能 総合値
				1.7mm 調製 (1-10)	1.85mm 調製 (1-10)			
6/10頃	なつほのか	656	22.9	4.8	4.1	6.9	76	0.04
	ヒノヒカリ	582	21.7	5.3	4.3	6.7	71	0.03
	差・比	113	+1.2	-0.5	-0.2	+0.2	+5	-
6/25頃	なつほのか	644	23.0	6.4	4.8	7.0	82	-0.23
	ヒノヒカリ	587	21.3	6.1	5.9	6.8	76	0.00
	差・比	110	+1.7	+0.3	-1.1	+0.2	+6	-

注1)表中の値は、6/10頃移植が6か年(2015~2017、2020~2022年)、6/25頃移植は8か年(2013~2017、2020~2022年)の平均値。

注2)差・比の値において符号のあるものは差、ないものは比を表す。

注3)倒伏:0(無)、1(微)、2(少)、3(中)、4(多)、5(甚)。

注4)玄米重は1.70mmふるいで調製。玄米重、千粒重、玄米タンパク質含有率:水分14.5%換算値。

注5)検査等級は1(1等上)、2(1等中)、3(1等下)、4(2等上)、5(2等中)、6(2等下)、7(3等上)、8(3等中)、9(3等下)、10(規格外)。

注6)食味官能試験の基準品種は、水田農業グループ場内産ヒノヒカリを供試。



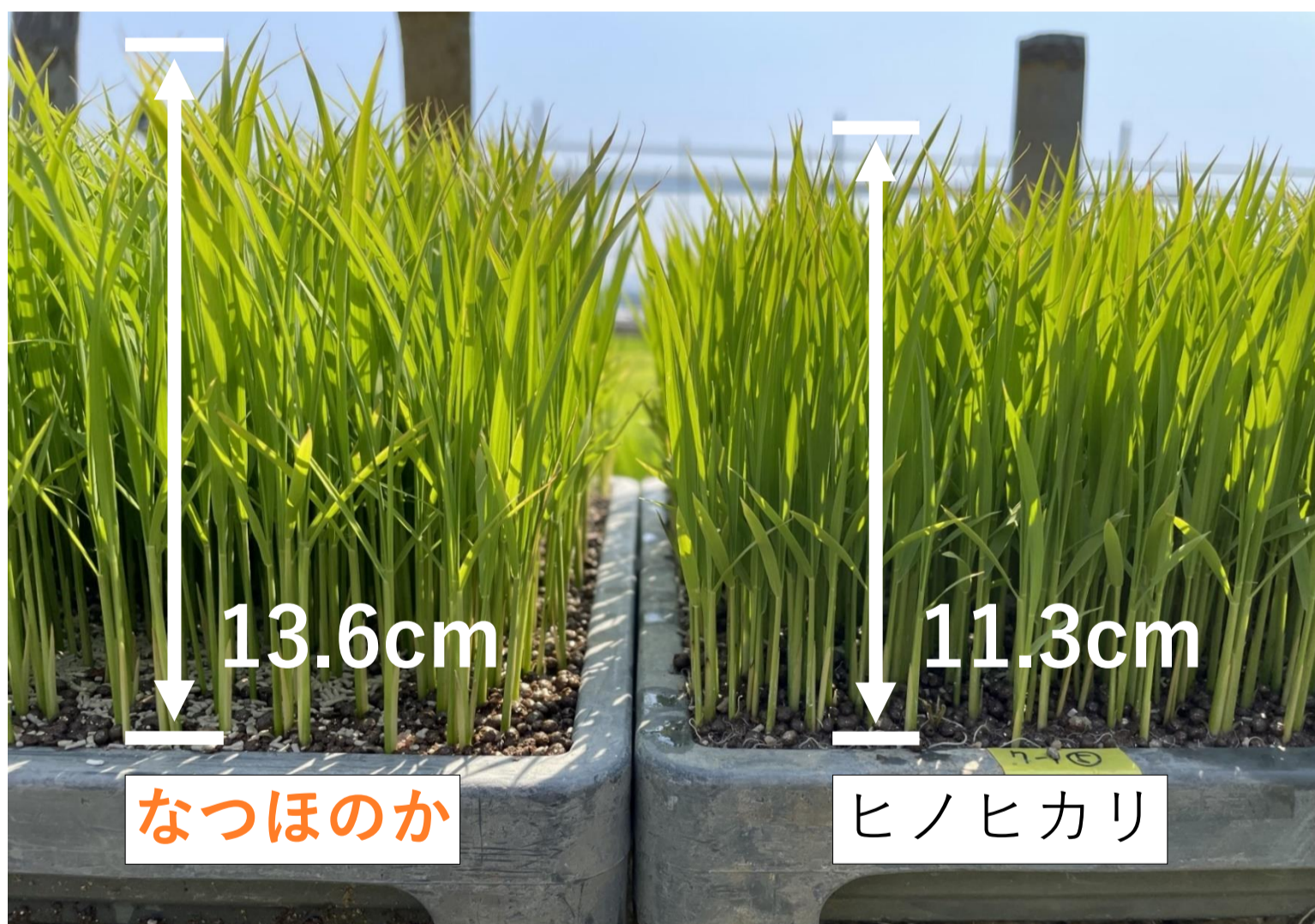
ここが大切！7つの栽培ポイント

① 苗の伸ばしすぎに注意

- ・「なつほのか」は「ヒノヒカリ」に比べて、**苗が伸びやすい**ため、**被覆資材を取り除くタイミングには十分注意**してください。
- ・緑化と硬化は「ヒノヒカリ」より1～2日早く開始し、**3cm程度**で遮光シートを外し屋外に広げましょう。



播種3日後の苗の比較



播種20日後の苗の比較



「なつほのか」は「ヒノヒカリ」と同じ管理では苗が伸びすぎます。**被覆資材を早めに外しましょう！**

② 苗箱施薬は必須

- ・「なつほのか」は「ヒノヒカリ」と同様に**いもち病に弱い**ため、**必ずいもち病に効果のある育苗箱施薬剤**を使用しましょう。
- ・ウンカ対策として、**トリフルメゾピリム成分**を含んだ薬剤の使用が有効です。

③肥料は施肥基準量を守る

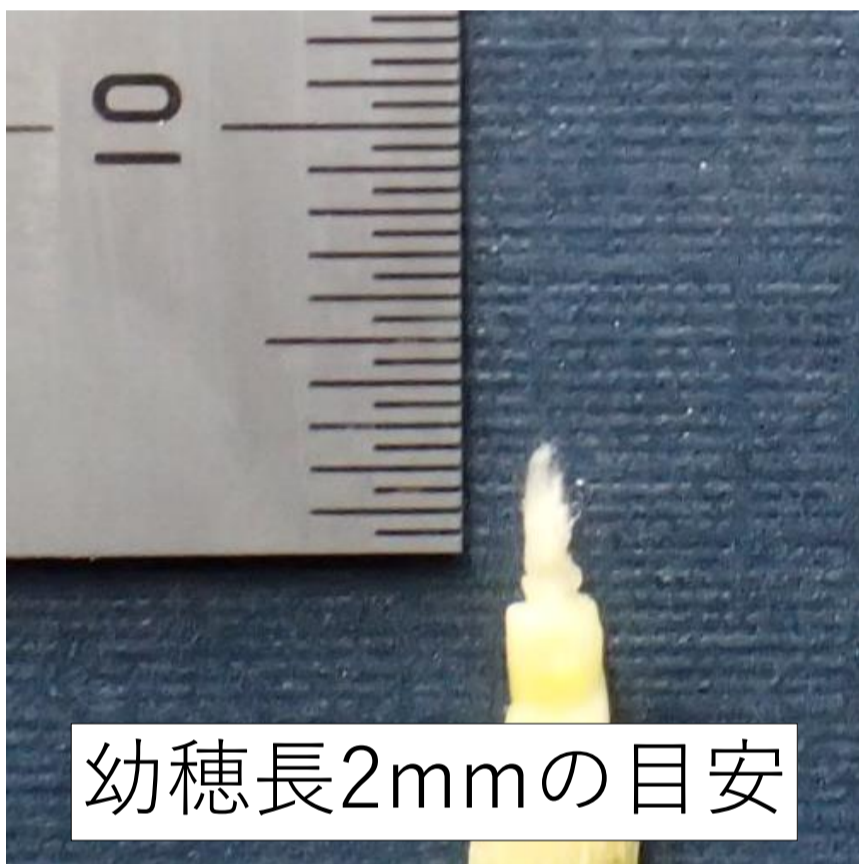
- ・窒素施肥量は以下の施肥量が基本です。
- ・堆肥を多量に施用した圃場や肥沃な圃場では倒伏防止、いもち病防止のため、基肥を減量しましょう。

分施肥体系

基肥	穂肥	
窒素施肥量 kg/10a	窒素施肥量 kg/10a	施用時期
4	3	幼穂長2mm (出穂23日前)頃

全量基肥(一発肥料)

基肥	備考
窒素施肥量 kg/10a	
7	移植同時施用の場合は 溶出期間 90日タイプ を使用する。 (耕起時施用の場合は100日タイプ)



分施肥体系の場合、穂肥施用のタイミングは**幼穂長2mm(出穂23日前)頃**
「ヒノヒカリ」より出穂が早いため遅れないように注意しましょう。

④適切な栽植密度

- ・安定的な収量、品質を確保するため、植付株数は**坪あたり50～60株(株間22～18cm)程度**を目安としましょう。
※極端な疎植は、茎数不足により穂数が確保できず収量が低下する恐れがあります。
※極端な密植は、過繁茂による病虫害発生や倒伏を助長します。

⑤中干しと間断灌水で生育をコントロールする

- ・生育状況に合わせて、**中干し**を確実に実施しましょう。
茎数が1株20本程度になったときが、中干しを開始する目安です。
(田の表面が軽くひび割れる程度まで実施する)
- ・中干しをすることで、**倒伏軽減**や**登熟向上**につながります。
- ・早期落水は避け、収穫に支障が出ない程度に**収穫直前まで間断灌水**を行きましょう。

⑥病害虫に要注意

- ・病害虫の発生を助長する多肥や極端な密植栽培を避け、**発生予察情報**に基づいた防除を行きましょう。
- ・**いもち病**には「ヒノヒカリ」と同様に**弱い**ため、**防除を徹底**しましょう。
※葉いもちの発生を確認した場合は直ちに防除しましょう。
- ・「なつほのか」を「ヒノヒカリ」作付地域に植える場合、**出穂が早い**ため**カメムシ類が集中**します。適期に**カメムシ防除を徹底**しましょう。



葉いもちの病斑



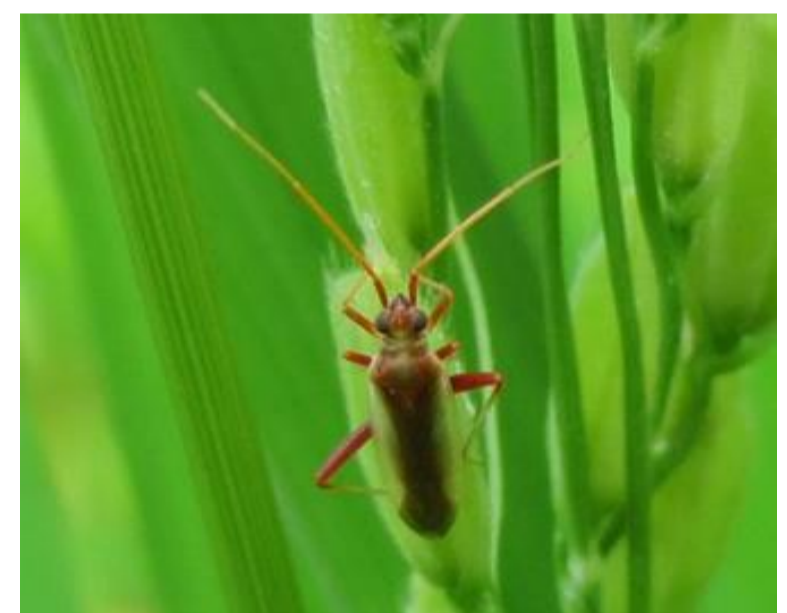
クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ



イネカメムシ



アカスジカスミカメ

斑点米カメムシ類

写真出典 病害虫対策チーム原図

**トビイロウンカについては、
県が発表する警報・注意報に注意し、
対策を行ってください！**



↑発生予察情報は
こちらのサイトで確認できます
(病害虫対策チームHP)

⑦適期収穫

- ・収穫適期は**青籾率が10～15%**のときです。
出穂期後からの積算温度(日平均気温の積算値)は約1050～1200℃です。
※早刈は青未熟粒、刈遅れは茶米や胴割れ米が多くなり、品質・食味ともに低下します。

「なっほのか」栽培管理の目安

平坦地

中山間地

防除 ✔ 必須防除
✔ 状況に応じて実施

防除 ✔ 必須防除
✔ 状況に応じて実施

月	上	中	下	平坦地	中山間地
5月					播種
6月	播種			✔ 種子消毒	移植
				✔ 苗箱施薬	
		移植		✔ 除草剤散布	
7月		中干し		✔ 害虫防除	中干し 茎数20本目安
					穂肥
			穂肥		
8月				✔ いもち病防除	出穂期
		出穂期		✔ 穂揃期防除	
9月				✔ 害虫防除	
					成熟期
10月		成熟期			

発行 大分県農林水産研究指導センター 農業研究部 水田農業グループ

問い合わせ先



↑大分県のお米に関するページ
 (栽培技術情報)

- 各振興局 生産流通部 集落営農・水田畑地化班(南部振興局は営農・畑地化・畜産班)
 - ・東部振興局 TEL.0978-72-1141
 - ・中部振興局 TEL.097-506-5791
 - ・南部振興局 TEL.0972-22-1195
 - ・豊肥振興局 TEL.0974-63-1301
 - ・西部振興局 TEL.0973-23-2217
 - ・北部振興局 TEL.0978-28-2304(宇佐) TEL.0978-28-2303(中津・豊後高田)
- 大分県 水田畑地化・集落営農課 TEL.097-506-3596